

## トータル医用ソリューション

Total Solutions in Medicine

## 巻頭言

## 多様なニーズに応える医用ソリューション

Solutions for a Wide Range of Medical Needs

高齢化の急速な進展や医療制度の抜本改革など医療環境も大きく変化し、病院は医療と経営の両面で質の向上が求められています。このような状況のなか、CT(コンピュータ断層撮影)装置やMRI(磁気共鳴イメージング)装置などの画像診断装置は、撮影の高速化、高分解能化、及び被ばく低減などの技術革新により、がん、心疾患、脳血管疾患などの診断領域で、診断精度の向上に大きく貢献しています。更に、複数の画像診断機器の組合せや新しい分子イメージング技術の応用により、診断と治療の融合による早期診断と早期治療が期待されています。また、インフォームドコンセントやQOL(Quality Of Life)ということばに代表される患者への情報開示や患者本位の診療、及びチーム医療の実現のためにIT(情報技術)を活用したより安全で効率的な医療情報システムの構築も求められています。

東芝メディカルシステムズ(株)は、このような多様な医療ニーズに的確に応えるために、“予防と健診→診断→治療→フォローアップ”という臨床ワークフローのサイクルにおいて、東芝グループの持つ最新テクノロジーを駆使して付加価値の高いソリューションを提供することにより、クリニカルバリューの最大化を目指しています。そのために、国内外の様々な研究・医療機関と連携した共同研究や共同開発にも取り組んでいます。例えば、世界7か国9サイトの最先端医療機関と共に、心臓CT検査におけるマルチセンタースタディ“CORE64”を立ち上げました。これは、従来のX線循環器診断システムによるカテーテル検査と、64列マルチスライスCT装置 Aquilion™64による心臓検査を比較評価する国際的な多施設共同研究です。

当社は、医療の様々な領域の様々な課題を解決する“トータル医用ソリューション”の提供を目指し、グローバルな総合医用機器・システム企業として、“人にやさしい患者中心の医療”の実現に貢献していきます。



山野井 俊夫  
YAMANOI Toshio